Vol.
32号

平成２８年１２月

やまぼうし

社会福祉法人 市島福祉会
認定こども園 いちじまこども園

〒669－4321
兵庫県丹波市市島町上垣138－1
（☎）0795－85－2330
（fax）0795－85－2335
http://www.ichijima-kodomoen.com

こども園HP

＜保育理念＞
受容・信頼・貢献感
いきよう
ちからいっぱい
じぶんらしく
まっすぐに

音楽を楽しんだ こどもライブ！

子ども達は日々、保育者や友だちと一緒に、色々な歌や曲に触れ、合わせて体を動かしたり、歌を歌ったりして遊んでいます。そんな楽しんでいる姿を見ていただこうと先日、こども園において「こどもライブ」を行い、たくさんの保護者の方に来ていただきました。

ナーサリー（0，1，2歳児）

保育者と一緒に好きな歌や曲に合わせて体を動かしたり、散歩に行った先で「あった～」と、一つ一つをつまんで拾ったどんぐりで作ったマラカスやタイコを鳴らして楽しんだりしました。たくさんの保護者の方々にびっくりした子もいましたが、お家の人が側にいる安心感の中で、普段と変わらないそのままの姿が見ていただけたと思います。お家の人と触れ合い遊びも、とっても嬉しそうな子ども達でした。

▲「わんわん」「もーもー」言えたね！

▲どんぐりのバチでコンコンコン♪

▲お家の人と触れ合い遊びしたよ♡

キンダー（3．4．5歳児）

自然の中で見つけた物を使って作った楽器や、色々な楽器の音を友達と合わせて合奏を楽しみました。

また、好きな遊びの時間に楽しんでいたアイドルごっこ。少しずつ自分達で動きを考えたり、衣装や持つものを作ったりして、膨らんでいき、素敵なダンスになりました。その過程では、子ども同士や保育者と話し合う時間をとり、「こうした方がいいと思う」「○○にした方がよく見えるかな？」などと、時間をかけてしっかり取り組みました。特に5歳児は、自分の思いを出し合う中で、友だちの意見を聞いて「そうやな、そっちの方がいいな」と相手の思いを受け止められるようになり、大きな成長がみえました。

▲竹をたたくといい音するよ！

▲みんなですると楽しいな～♪

▲踊りをみんなで考えたよ！

▲みんなで動きを合わせると気持ちいい！

倉橋惣三の言葉

「さすがは幼稚園である。
自宅では遊ばない子供も
ここへ来ればあんなによく遊ぶ、
よくもああやって、
一生懸命遊ばれるものだ」
といって貰ってこそ、
それは幼稚園にとって
大きな手柄です。

「幼稚園雑草」より

（解説）
園には、友だちがいます。保育者がいます。そして、遊び込むために用意された「環境」があるのです。保育園、こども園も同じです。保護者にも、園での遊びはこれほど夢中になり、「学び」につながる豊かなものであることの圧倒的な説得力を持ちたいものです。

倉橋惣三（1882～1955）
「日本のフレーベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。